

# 民 法

平成21年12月6日(日) 10:00~11:30

## 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚(各問について1枚)、下書き用紙は2枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答用紙は、第1問と第2問とで異なります。それぞれ正しい用紙に解答して下さい。
5. 解答は横書きにして、各問につき1枚の解答用紙(裏面使用も可)に収めて下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
6. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
7. 問題の内容に関する質問には応じません。
8. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
9. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【第1問】（配点：30点）

Aは、ある日の午後9時ころ、JRの駅から徒歩で帰宅している途中、道路脇に子どもが倒れているのを見つけた。近寄ってみると、倒れていたのは知人Bの長男で小学3年生のCであった。Cは、自転車に乗っていたところ転倒して頭を強く打ったようで、意識不明の状態であった。そこで、Aは、タクシーにCを乗せて、近くのD病院に運んだ。AはBの名でD病院に治療を依頼した。次の小問の（1）と（2）について、理由を明示して答えなさい。

（1）AはBに対してタクシー代とCを救助したことについての報酬を請求することができるか。

（2）D病院はCの治療費（ないし治療費相当額）を、①Bに対して請求ができるか。②Aに対して請求できるか。

【第2問】（配点：70点）

Aは、Bが所有する中古自動車（以下、「本件自動車」という。）を賃借していたが、これを自己の所有であると偽って、Cに売却した。本件自動車がAの所有であると信じていたCは、即座に代金80万円を支払うとともに、本件自動車を洗車・コーティングして3日後に自宅に届けてもらう旨を約束した。次の小問の（1）（2）について理由を明示して答えなさい。なお、小問の（1）と（2）は互いに無関係である。

（1）本件自動車は登録されていなかったため、約束の当日、Aはトレーラーに本件自動車に乗せてCの自宅へ運んでいる途中、D運転の大型トラックと衝突し、本件自動車は大破してしまった。この事故の原因はDの居眠り運転によるセンターラインオーバーであった。

（ア）A・B・Cは、本件自動車の大破について、Dに対して損害賠償を請求しようと考えているが、どのような主張が可能か。

（イ）AとB・Cとの法律関係はどのようなようになるか。

（2）Cは約定通り本件自動車の引渡しを受け、その後2か月間これを使用してきたが、ある日、Bから「本件自動車は自分のものである」として、その返還を請求された。本件自動車の返還についてBからしばらくの猶予をもらった後、Cは本件自動車の所有者がBであることを確認し、Aを詰問すべく本件自動車を運転してAのもとに行く途中、D運転の大型トラックと衝突し、本件自動車は大破してしまった。本件事故の原因はDの居眠り運転によるセンターラインオーバーであった。Cは本件自動車の売買契約を解除しようと考えているが、可能か。可能であるとすれば、A・C間の法律関係はどのようなようになるか。A・Cそれぞれがなすと考えられる主張を明示して論じなさい。

以上